

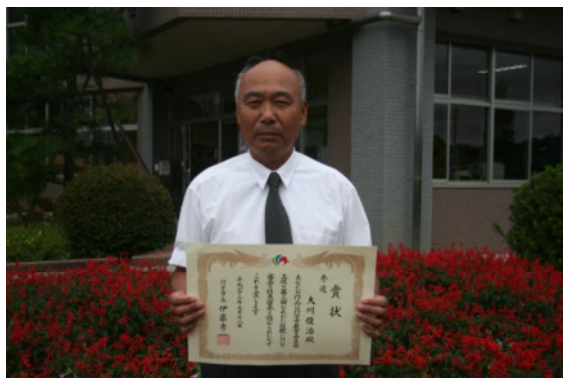
# けやき通信

【第40号】平成23年9月26日（月）

行方市立 小貫小学校

## 大川教頭先生 本領発揮

運動会での教頭先生の活躍は、強く印象に残っていることでしょう。また日頃の、児童の安全管理・看護については、本当に心強く感じているところです。登下校の指導・昼休み等の目配りは児童の日常生活の安全安心にどれほど寄与しているか計りしれません。



このたび、文化の薫り高い「なめがた狂歌」で入賞し、授賞式に参加してきました。入賞作品は、「帰り道 ワイワイガヤガヤ話し声 今日のできごと われ先に言う」毎日低学年の4方向の下校班に付き添い指導をしています。その時の光景が自然に歌い込まれています。

茨城新聞の記事によると「狂歌は短歌形式の文学。テーマや季語にとらわれることなく、日常の出来事などを社会風刺やしゃれを交えて表現するのが特徴」とあります。今回は第3回の募集になり、北海道から九州まで610人から1307首の応募があったとのこと。その中で数点の中に選ばれ「秀逸」という賞に輝きました。おめでとうございます。

## 石上先生お帰りなさい

石上先生は、21年度を最後に定年退職されました。その後、JICA（ジャイカ）の事業のボランティアで、バヌアツ共和国へ派遣されていました。英語圏の国で日本人はごく少数だったそうです。仕事の内容は、特別支援関係の教員の指導ということです。



21日に子ども達に話をしてくれました。国の特徴や学校の様子、食べ物など生活の様子をたくさんの写真を映しながら伝えてくれました。全く環境の違う国で、子ども達の想像力も刺激を受けたことでしょう。「バヌアツでのお仕事ご苦労さまでした。とても勉強になりました。海の水もきれいで、食べ物もいっぱいあっていい国だと思いました。ありがとうございました。」また、「石上先生はバヌアツへボランティアに行ってくれたいと思いました。私もそんな人間になりたいです。」



それにしても石上先生の生き方には感銘を受け気高さを感じます。

